

# 紅花の出荷要領

## I 出荷規格について

### ①春切り（出荷期間の目安は6月）

階級	茎の太さ	側枝数	主幹長	箱本数	1束本数
100cm	0.8cm	5以上	60cm以上	40	10本
100cm	0.8cm	5以上	50cm以上	50・60	10本
100cm	0.5cm	4以上	40cm以上	70	10本
80cm	0.3cm	3以上	30cm以上	100	10本

※主幹長とは最下枝（一番下の側枝）の付け根から頂花までの長さです  
3Lは、初期のボリューム（側枝の長いもの）とする

### ②夏秋切り（出荷期間は、7月～10月）

階級	茎の太さ	側枝数	箱本数	1束本数
70cm	—	5	40	10本
60cm	—	4	50	10本
50cm	—	3	60	10本

- 茎の太さについては目安です。
- 側枝数は頂花を除いた数です。
- 入り本数は必ず守る。
- 松花粉については気にしない。

## II 出荷資材について

①名称『庄内の四季彩 No.3』（春切り）

『庄内の四季彩 No.7』（夏秋切り）

▼統一デザイン、シンボルマーク入りのダンボールを使用する事！

## III 採花、出荷の留意事項について・・・

- ◆ 花色鮮明で、花数・花揃いの良いもの
- ◆ 品種の特性を有し、茎葉の剛直なもの
- ◆ 採花適期で、均整のとれたもの
- ◆ 花卉の痛みが無く、葉の色沢、形状とも良好なもの
- ◆ 病虫害、農薬による汚染等異常の無いもの

## IV 調整方法について・・・

- ① 圃場での切り前は、頂花を除いて、0.8～1輪開花時とし、ほぼ一斉開花となりますので、取り遅れの無いように。
- ② 自然と頂花は、咲きすぎになる事から、花びらのみ取り除く
- ③ 葉について、一番下の側枝から下2～3枚程度残し、その他は除去する。
- ④ 上位葉で、ハモグリ・褐色の葉がある時は、除去するか、部分的に取り除く
- ⑤ 束の結束には、オーバンド N0260 か N0310 を使用する
- ⑥ 切花後延命剤は、使用しなくても良い
- ⑦ 中締めが必要な場合は、オーバンドで。
- ⑧ 咲き気味・側枝の長さを箱単位で分けて出荷する